PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

2002-132204

(43)Date of publication of application: 09.05.2002

(51)Int.Cl.

6096 3/28 G09G 3/20 G09G 3/288 HO4N 5/66

(21)Application number: 2000-323606 (22)Date of filing:

24 10 2000

(71)Applicant : NEC CORP

(72)Inventor: SHOJI TAKATOSHI

(54) DRIVING METHOD FOR AC TYPE PLASMA DISPLAY PANEL, AND AC TYPE PLASMA DISPLAY

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a driving method for an AC type plasma display panel by which the reversion of luminance among gray levels is suppressed and to provide the AC type plasma display. SOLUTION: At the time of driving the AC type plasma display panel which is constituted of an address period and a sustenance period, when gray levels is expressed by the sum of luminance of sub-fields to be selected, the mismatching of gray level expression due to luminance saturation is corrected by making the regularity of the selection order of sub-fields of lower



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

24 10 2005

Date of sending the examiner's decision of rejection]

bits different in accordance with gray levels.

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

Searching PAJ 페이지 2 / 2

decision of rejection]
[Date of extinction of right]

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-132204 (P2002-132204A)

(43)公開日 平成14年5月9日(2002.5.9)

審査請求 未請求 請求項の数12 OL (全 10 頁)

(51) Int.Cl.7		識別配号	FΙ			7]}*(参考)
G 0 9 G	3/28		C 0 9 G	3/20	641E	5 C 0 5 8
	3/20	6 4 1			6 7 0 E	5 C 0 8 0
		670	H04N	5/66	101B	
	3/288		G 0 9 G	3/28	K	
H04N	5/66	101			В	

(21)出顯器号	特顧2000-323606(P2000-323606)	(71)出版人 000004237
		日本電気株式会社
(22) 出版日	平成12年10月24日(2000, 10, 24)	東京都港区芝五丁目7番1号
		(72)発明者 東海林 孝年
		東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
		式会社内
		(74)代理人 10009/113
		弁理士 堀 城之
		Fターム(参考) 50058 AA11 BA02 BA04 BA05 BB10
		50080 AA05 BB05 DD03 DD09 EE29
		FF12 HH02 HH04 HH05 JJ02
		JJ04 JJ05 JJ06

(54) [発明の名称] A C型プラズマディスプレイパネルの駆動方法及びA C型プラズマディスプレイ

(57)【要約】

【製題】 本発明は、階調間の頻度の連転を削削するA C型プラズマディスプレイパネルの廃動方法及びA C型 プラズマディスプレイを提供することを課題とする。 【解決手段】 アドレス期間と維持期間とで構成された A C型プラズマディスプレイパネルの駆動時に、選択する カサブフィールドの薄度の和により階測を実現する場合 に、階割レベルの高低により、下位ビットのサブフィー ルド選択順呼の規則性を異ならせることにより、輝度施 和による階調表現の不整合を補正する。

世典レベル	6F1	6F2	SF3	BF4	SF5	SFE	8F7	6F8	8F9	BF10	6F11	SF12
•	Н	-	_	_	824	bte	, 		_	_		Н
a4		組み合わせ口										
a+2				_	Ers f	けわせ	0					
e+6	組み合わせD											
artm	┝			_	8-7-2) Sbt	_	ш	_	-	0	\vdash
n*m*f	組み合わせの							0				
atmi2	組み合わせり						0					
a41148	0	0		0	0	0	0	0		0	0	
aterin	⊢	_	_	_	Marie	bt	-	_	-	-	0	-
e-m:n-s	組み合わせり							0	0			
arm: nr2	0	0		0	0	Q	Q	0		Q	0	0
Cin imis			0	0	0	0	0	0		0	0	C

組み合わせで
組み合わせ D
※ ○ 】 → 選択 SE、) エ非選択 SE

10101010101010101

【特許請求の範囲】

【請求項1】 1画画を構成する時間である1フレームを複数のサブマィールドに分割し、任意のセルに書き込み放電を生させるために参サフィールドにて、走査電極に線順次に走査パルスを印加しつつ選択するデータ電磁に走査パルスに同期したデータパルスを印加して選択セルに書き込み放電を足こし壁電荷を形成するアドレス期間と、アドレス期間に選択的に放電が発生した箇所に維持放電を持続的に発生させる表示放電を行う維持期間とを備えて成るAC型プラズマディスプレイパネルの線動方法であるて、

選択するサブフィールドの頻度の和により需謝を表現する場合に、階調レベルの高低に応じて、下位ビットのサブフィールド選択順序の規則性を異ならせることにより、頻度動和による階調表現の不整合を補正することを特徴とするAC型プラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項2】 高階調レベルにおいては、輝度飽和の影響を受ける階調レベルをスキップさせることで、選択サ ブフィールドの規則性を変えることを特徴とする請求項 1 に記載のA C型プラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項3】 総総持パルス数の多案に応じて、異なったコーディングを用いることを特徴とする請求項と記載めれる配プラスデギュスアレバネルの駆動方法 【請求項4】 入力信号の平均輝度レベルに応じてダイナミックに異なったコーディングを用いることを特徴と ナミックに異なったコーディングを用いることを特徴と かの駆動方法

【請求項5】 高階調レベルを表現するために上位ビットを多く選択している場合に、限調レベルを由階調分 (n≥1)スキップさせることにより、階調問頭度の逆 転を防止することを特徴とする請求項1に記載のAC型 プラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項6】 1フレーム中の総維持パルスの多奪に応 じて、スキップの有無が異なることを特徴とする請求項 らに記載のAC型アラズマディスプレイパネルの駆動方 法.

【請求項7】 1フレーム中の総維持バルスの多第に応 じて、スキッフ数が異なることを特徴とする請求項5に 記載のAC型プスマディスフレイバネルの服動方法。 【請求項8】 PLEと呼ばれる電力制御方法と組み合 わせる場合、入力信号環度レベルに応じてダイナミック に維持バルスを変化させるともに、当該維持がルス 数の変化に応じてダイナミックにコーディングを変化さ せることを特徴とする請求項もまたは7に記載のAC型 プラズマディスプレイバネルの駆動方法。

【請求項9】 1画面を構成する時間である1フレーム を複数のサブフィールドに分割し、任意のセルに書き込 み放電を発生させるために各サブフィールドにて、走査 電船に線順次に走かいルスを印加しつつ選択するデータ 電船に走路がいたに同期したデータハン現代するデータ 電船に走路がいたに同期したデータハンを印加して選 ス期間と、アドレス期間に選択的に放電が発生した箇所 に維持放電を特務的に発生させる表示放電を行う維持期 間とで撮動されるAC型アラスマディスアレイであっ

て、 選択するサブフィールドの構度の和により階割を表現す る場合に、階調レベルの高低に応じて、下位ビットのサ ブフィールド選択即序の規則性を異ならせることによ り、輝度館による階調表現の不整合を補正する手段を 有することを特徴とするAC型アラズマディスアレイ。 【請求項10】 高階割レベルにおいては、輝度舱和の 影響を受ける路割レベルをスキップさせることで、選択 サブフィールドの規則性を変える手段を有することを特 彼とする請求項9に記載のAC型アラズマディスアレ 4.

【請求項11】 総維持バルス数の多寡に応じて、異なったコーディングを用いることを特徴とする請求項10 に配載のAC型プラズマディスプレイ。

【請求項12】 入力信号の平均頻度レベルに応じてダイナミックに異なったコーディングを用いることを特徴 とする請求項11に記載のAC型プラズマディスプレイ。

【発明の詳細な説明】

【000】 【発明の属する技術分野】本発明は、プラズマディスプ レイ駆動技術に係り、特に階調問の頻度の逆転を抑制す るAC型プラズマディスプレイパネルの駆動方法及びA

C型プラズマディスプレイに関する。

[0002]

【従来の技術】プラズマディスプレイパネルは、薄型構造でちらつきがなく表示コントラスト比が大きいこと、また、比較的に大画面とすることが可能であり、応答速度が速く、自発光型で蛍光体の利用により多色発光も可能であることなど、数多くの特徴を有している。

【0003】このために、近年、コンピュータ関連の表示装置分野およびカラー画像表示の分野等において、広く利用されるようになりつつある。

[0004]このようなアラスマディスアレイには、その動作方式により、電極が誘電体で被覆されて間接的に 交流域電の状態で動作させるAC型プラズマディスアレイパネルと、電極が放電空間に露出して直流放電の状態で動作させるDC型プラズマディスアレイパネルとがある。

【0005】上記AC型プラズマディスプレイパネルの 駆動方法としては、放電セルのメモリを利用するメモリ 動作型と、それを利用しないリフレッシュ動作型とがあ る。

【0006】なお、プラズマディスプレイの輝度は、放

電回数、すなわち、バルス電圧の繰り返し数に比例する。上記のリフレッシュ型の場合は、表示容量が大きくなると頻度が低下するため、小表示容量のアラズマディスプレイに対してキとして使用されている。

【0007】図8は、従来技術のAC型プラズマディス プレイの一つの表示セル構成を例示する断面図である。 この表示セルは、ガラスより成る背面ガラス基板1及び 前面ガラス基板2と、前面ガラス基板2上に形成される 透明な走査電極3及び透明な共通電極4と、電極抵抗値 を小さくするため走杏電板3及び共通電板4に重なる上 うに配置されるトレース電極5、トレース電極6と、背 面ガラス基板1上に、走査電極3及び共通電極4と直交 して形成されるデータ電極7と、背面ガラス基板1及び 前面ガラス基板2の空間に、ヘリウム、ネオンおよびキ セノン等またはそれらの混合ガスから成る放電ガスが充 填される放電ガス空間8と、この放電ガス空間8を確保 するとともに表示セルを区切るための隔壁9と、上記放 電ガスの放電により発生する紫外線を可視光10に変換 する蛍光体11と、走査電極3及び共通電極4を覆う誘 電膜12と、この誘電膜12を放電から保護する酸化マ グネシウム等から成る保護層14と、データ電極7を覆 う誘電膜13とを備えて構成される。

【0008】図9は、提来技術のAC型プラスマディス アレイパネルの電発配置を模式的に示したものである。 平行に設けられた走査電路を1, S2, S3, …, Sn と共通電極C1, C2, C3, …, Cnと、ぞれらと直 交する方向に設けられたデータ電盤D1, D2, D3, D4, D5, …, Dmとの交点が発光するを北となる。 走査電極S1, S2, S3, …, Snの1本と共通電極 1本とデータ電能 1本で1つのセルを構成する。従って 1両面全体のセル数は、(走本電豚S1, S2, S3, …, Sn及び共通電板C1, C2, C3, …, Cnのn 本)×(データ電板D1, D2, D3, D4, D5, …, Dmのm+か の (n×m) 間となる。

【0009】かかる構成におけるAC型プラズマディス プレイの書き込み選択型駆動動作については、図12を 参照して説明する。図12は、従来技術のAC型プラズ マディスプレイパネルの書き込み選択型駆動動作を説明 するためのタイミングチャートである。

【0010】図12を参照すると、1画面を構成する時間である1フレームを複数のサブフィールド(以下、SFと略記することがある)のそれぞれは、プライミング期間→アドレス期間→維持期間→電荷消去期間の4つの期間で構成されている。

[0011]まず、最初のアライミング期間では、走査 電極に印加される電圧VpのアライミングパルスPprs、共適電極側に印加されるアライミングパルスPpr-c により、放電を発生させる。この放電により走査電極と 共適電極の電極間ギャフア近傍の放電空間においてアラ イミング推放が毎年1、土化の放電を発生をやすくす る活性粒子の生成が行われると同時に、走査電極上に負 極性、共進電極上に正極性の壁電荷が付着する。続い て、電荷調整パルスPbesが印加され、弱放電を発生さ せることにより、走査電極上の負権性壁電荷、共通電極 上の正極性壁電荷を減少させる。

【0012】アトレス期間は、発光させる放電セル選択の期間であり、走電艦に印助される負格性の主要かり、 スPsc-csとデータ電線に印助される負格性の主要かり、 スPdにより選択するセルのみで書き込み板電を発生させ、 以降の維持期間で発光させる場所のセルの電格に型電信付着させる。書き込み水電は、走をがい、ZPsc-sが印助された主意電極とデータがい、ZPsc-が印助された手でで観報の表でのみ発生するとその放電とルには望電荷が付着する。それに対し、放電が発生するとその放電セルには望電荷が付着する。それに対し、放電が発生とかった放電セルには30で間によりいては電荷消去後の壁電荷が少空な収載である。

(0013) 維持期間は、表示発光のための期間であり、共通電極側から開始され、以降、走査電極側、共産電極側、大型な経動である。 (電圧状s)、維持が以入Psus-cが完全電極、共調電管に印加される。この際、アドレス期間で書き込みが行われてかった数電とルの壁電液量は非常に少ないので維持が少なが知かされるをはないでも維持を環は発生しない。

【0014】一方、アドレス期間で書き込みみ放電が発生した故電・かたまいては走査電極に正電荷、共通電磁に負電荷が付着しており、共通電格への負権性の維持バルス電圧と壁電荷電圧が重要され、放電開始電圧を超る、放電が発生する。大地でが生きると、それでの電極に印加されている電圧を打ち消すように壁電荷が配置される。後って共通電極には負電荷、走査電格には正電荷が付着する。

【0015】次の維持パルスは走査電極側が正電圧のパルスであるため、整電荷との重量によって放電空間に印加される実効的電圧が放電開始電圧を越えて放電が発生する。以下、同じことを繰り返して放電が維持される。 輝度はこの放電の繰り返し回数で決定される。

【0016】電虧消去期間では、走査電極に負極性の維 持消去パルスPseeを印加し、維持期間で発光していた 場合に存在する壁電荷を消去し、パネル内の全放電セル の状態を均一化する。

【0017】このシーケンスを動作させるための回路の ブロック国を図10に示す。プラズマディスプレイパネ ルの木平方向の端部に走空電路、維持電像「不包示」の 取り出し部があり、この接続部に駆動回路が接続され る。走空電帳側の駆動回路は走空電程1本ずつに走去が ルスを出力するための走去がルスドライバ、プライミン グパルスを出力するための維持ドライバ、消去パルスを印 加するための消去ドライバ、走査ベースパルスを印 加するための声法、アイ、、走査ベースパルスを印 力なめの連右、アイ、、走査ベースパルスを印するための走をイースドライイ、走査電子というである。 の走査電圧ドライバから構成され、これら全体として走 査電極ドライバを構成する。

【0018】一方、共通電極側の駆動回路は、共通電極 全体に維持バルスを印加するための維持ドライバから構 成されている。プラズマディスプレイパネルの垂直方向 の端部にはデータ電極の取り出し部があり、この接続部 にデータドライバが接続される。

【0019】なお、図10では、各ドライバをスイッチ として表記しているが、これは物理的なスイッチではな く、トランジスクやFETなどに代表される素子で構成 しても良い。

【0020】また、消費電力は、画像の表示面積が大きく平均輝度レベルが高い場合、極めて増加する。そこで、消費電力の増加を抑制するための制御方法が用いられている。この制御方法は、PLE (Peak Luminance Enhancement) と呼ばれている。

【0021】PLEにおいては、入力された映像信号は、映像信号処理回路、サプフィールド制御回路(SF制御回路)でプラズマディスプレー用の信号に変換される。変換された信号は、入力信号平均輝度レベル後算回路に入力され、画面全体の輝度レベルを演算する。

【0022】維持バルス制御回路では、この演算結果を基に、入力信号の平均環度レベルが低い場合(APLが 低い場合)、すなわち、表示する面積が狭い場合は検 バルス数を増やして輝度を上昇させ、逆に平均輝度レベ ルが高い場合(APLが高い場合)、すなわち、表示す る面積が広い場合自住維持バルス数を減らして環度を制限 することで、表示面積が大きい場合の消費電力を抑えつ つ高いビーク輝度を得られるように各サブフィールドの 維持バルス数をフレーム毎に削削している。

[0023] 階調表現は、1つのフレームを複数のサブ フィールドに分割し、維持パルス数をサプフィールド毎 に異ならせ、そのサブフィールドの組み合わせによって 行う。したがって、各サブフィールドの維持パルス数の 比を例えば1:2:4:8:16:32:64:128 にすると、それらの組み合わせから256(=28)階 調を表現することができる。

[0024]

【発明が解決しようとする課題】上述したように、上記 総来技術では、各サプフィールドの維持パルス数の比を 例えば1:2:4:8:16:32:64:128にす ると、それらの組み合わせから256(=22)階調を 表現することができるものの、頻度飽和の影響により、 計算通りの解調を表現するのは難しい。

【0025] この輝度整和について以下に設明する。 吸に蛍光体の発光は、特簡平8-160913号公報に も記載されているが、蛍光体中に存在する付活剤と呼ば れる酸量の不確物中の電子が繋外光からのエネルギー吸 収により高エネルギー単位に励起し、その後、もとのよ り低いエネルギー単位に原放配の余剣エネルギーが光と して放出されたものである。その励起前の付活剤の数に 比較して、蛍光株に入射する紫外光の光量が多く、した がって、入射する紫外光の光干数が増大すると、入射紫 外光量に対して出力される可視光の光干数、したがっ て、蛍光体より出力される可視光の光重の割合が、入射 紫外流の増加とともに減少する。これが蛍光体の輝度 検和できる。

限のは、60。 [10 0 26] 記録光体の頻度総和により、各サプフィールドでの維持放電回数を単位発光頻度となるサプフィールドでの維持放電回数の2 = 倍に設定しても、発光頻度は単位発光頻度と対し、2 = 16 に設定しても、発光頻度は単位発光頻度と対し、2 = 16 に設定しても、発光頻度は単位発光頻度がより、2 = 16 では、2 =

【0027】 たがって、上記能来技術のプラズマディ スアレイの駆動方法では、図11 (APLの高能と階詞 レベルとの関係を説明するための図表) に示すように、 入力信号の平均原度レベル (APL) の高低に関わら ず、同じコーディングによって階調レベルは、k+1、 k+2、k+3を表現することにより、高頻度化のため 維持パルス数を増やすほど質変絶和の影響を受けやすく なり、限割間で頻度の遊売が発生する可能性が高くなる という問題点があった。

【0028】本発明は斯かる問題点を鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、階調間の興度の逆転を抑制するAC型アラズマディスプレイパネルの駆動方法及びAC型プラズマディスプレイを提供する点にある。

[0029]

【課題を解決するための手段】この発明の請求項1に記 載の発明の要旨は、1画面を構成する時間である1フレ ームを複数のサブフィールドに分割し、任意のセルに書 き込み放電を発生させるために各サブフィールドにて、 走査電極に線順次に走査パルスを印加しつつ選択するデ ータ電極に走査パルスに同期したデータパルスを印加し て選択セルに書き込み放電を起こし壁電荷を形成するア ドレス期間と、アドレス期間に選択的に放電が発生した 簡所に維持放電を持続的に発生させる表示放電を行う維 持期間とを備えて成るAC型プラズマディスプレイパネ ルの駆動方法であって、選択するサブフィールドの輝度 の和により階調を表現する場合に、階調レベルの高低に 応じて、下位ビットのサブフィールド選択順序の規則性 を異ならせることにより、輝度飽和による階調表現の不 整合を補正することを特徴とするAC型プラズマディス プレイパネルの駆動方法に存する。また、この発明の請 求項2に記載の発明の要旨は、高階調レベルにおいて

は 輝度飽和の影響を受ける階調レベルをスキップさせ ることで、選択サブフィールドの規則性を変えることを 特徴とする請求項1に記載のAC型プラズマディスプレ イパネルの駆動方法に存する。また、この発明の請求項 3に記載の発明の要旨は、総維持パルス数の多寡に応じ て、異なったコーディングを用いることを特徴とする請 求項2に記載のAC型プラズマディスプレイパネルの駆 動方法に存する。また、この発明の請求項4に記載の発 明の要旨は、入力信号の平均輝度レベルに応じてダイナ ミックに異なったコーディングを用いることを特徴とす る請求項3に記載のAC型プラズマディスプレイパネル の駆動方法に存する。また、この発明の請求項5に記載 の発明の要旨は、高階調レベルを表現するために上位ビ ットを多く選択している場合に、階調レベルをn階調分 (n≥1)スキップさせることにより、階調問輝度の逆 転を防止することを特徴とする請求項1に記載のAC型 プラズマディスプレイパネルの駆動方法に存する. ま た、この発明の請求項6に記載の発明の要旨は、1フレ 一ム中の総維持パルスの多寡に応じて、スキップの有無 が異なることを特徴とする請求項与に記載のAC型プラ ズマディスプレイパネルの駆動方法に存する。また、こ の発明の請求項7に記載の発明の要旨は、1フレーム中 の総維持パルスの多寡に応じて、スキップ数が異なるこ とを特徴とする請求項5に記載のAC型プラズマディス プレイパネルの駆動方法に存する。また、この発明の請 求項8に記載の発明の要旨は、PLEと呼ばれる電力制 御方法と組み合わせる場合、入力信号輝度レベルに応じ てダイナミックに維持パルス数を変化させるとともに、 当該維持パルス数の変化に応じてダイナミックにコーデ ィングを変化させることを特徴とする請求項6または7 に記載のAC型プラズマディスプレイパネルの駆動方法 に存する。また、この発明の請求項9に記載の発明の要 旨は、1画面を構成する時間である1フレームを複数の サブフィールドに分割し、任意のセルに書き込み故電を 発生させるために各サブフィールドにて、走査電極に線 順次に走査パルスを印加しつつ選択するデータ電極に走 杏パルスに同期したデータバルスを印加して選択セルに 書き込み放電を起こし壁電荷を形成するアドレス期間 と、アドレス期間に選択的に放電が発生した箇所に維持 放電を持続的に発生させる表示放電を行う維持期間とで 駆動されるAC型プラズマディスプレイであって、選択 するサブフィールドの輝度の和により階調を表現する場 合に、階測レベルの高低に応じて、下位ビットのサブフ ィールド選択順序の規則性を異ならせることにより、輝 度飽和による階調表現の不整合を補正する手段を有する ことを特徴とするAC型プラズマディスプレイに存す る。また、この発明の請求項10に記載の発明の要旨 は、高階調レベルにおいては、輝度飽和の影響を受ける 階調レベルをスキップさせることで、選択サブフィール ドの規則性を変える手段を有することを特徴とする請求 項9に記載のAC型アラスマディスアレイに存する。また、この発明の請求項11に記載の売明の要旨は、総様 がルス数の多案に応じて、異なったコーディングを用 いることを特徴とする請求項10に記載のAC型アラズ マディスアレイに存する。また、この発明の請求項12 に起数の発明の受けは、大力信分の半均減とレベルに応 じてダイナミックに異なったコーディングを用いること を特徴とする請求項11に記載のAC型アラズマディス アレイに存する

[0030]

【発明の実験の形態】本発明は、1 画面を構成する時間 である1フレームを複数のサブフィールド(以下、サブ フィールドをSFと略記することがある) に分割し、任 意のセルに書き込み放電を発生させるために各サブフィ ールドにて、走査電極に線順次に走査パルスを印加しつ つ選択するデータ電極に走査パルスに同期したデータバ ルスを印加して選択セルに書き込み放電を起こし壁電荷 を形成するアドレス期間と、アドレス期間に選択的に放 電が発生した箇所に維持放電を持続的に発生させる表示 放電を行う維持期間とで構成されたAC型プラズマディ スプレイパネルの駆動方法であって、選択するサブフィ ールドの輝度の和により階調を表現する場合に、階調レ ベルの高低により、下位ビットのサブフィールド選択順 序の規則性を異ならせることにより、輝度飽和による階 調表現の不整合を補正する点に特徴を有している。以 下、本発明の各種実施の形態を図面に基づいて詳細に説 明する。

【0031】 (第1の実施の形態)以下、本発明の第1 の実施の形態を図両に基づいて詳細に説明する。図1 は、本発明の第1の実施の形態を説明するための図表で ある。

【0032】第1の実施の形態のAC型プラスマディス アレイ200 (後述、図5. 図6参照)は、高階調レベルを表現するために上位ビットを多く選択している場合 に、階調レベルを n階調分 (n≥1) スキップさせるこ とにより、 階調問輝度の逆転を防止することを特徴とし ている。

【0033】[01を参照すると、第1の実験の形態は、組み合わせんを陪測レベルαを表現するサブフィールドの選択(選択SF(選択サブフィールド)を〇で示している)、組み合わせ目を密閉リベルュ+1を表現するサブィールドの選択とし、同様に組み合わせで開調レベルュ+2、組み合わせわが密調レベルュ+3を表現する組み合わせとする。なお、非選択サブフィールドを空間で示している。

【0034】ここで階調レベルュ+mは、組み合わせA (階調レベルコ)+SF11(階調レベルm)とする と、階調レベルュ+m+1を表現するには組み合わせB +SF11が維持が比え数としてはよさわしい。

【0035】しかし、SF10とSF11が同時に選択

された場合、前途のサブフィールド間環度熱配により、 時算和よりも頻度が低い場合がある。これにより、 時期レベルュールの頻度≥階別レベルュールー1の頻度とい うことが起こりうる。その頻度の逆転を防止するために、 部割レベルュールー1を表現するために、組み合わせし トSF11を用いる。これは、維持パルス要は階調レベルュールト間頻度施加 ルコールンには相当するが、サブフィールト間頻度施加 な。これが開調レベルュールー1に相当する頻度が得られ る。これが開調レベルュールー1がスキップされた状態 であり、同様に、階調レベルュールー=組み合わせB (階調レベルュー1) トSF11 (階調レベルコー) トS F12 (階調レベルコントを下17 (階調レベルコー) ト 第12 (階調レベルコートントを下17 (階調レベルコー) ト ト3) トSF11 (階調レベルコート) に ・3) トSF11 (階調レベルコート) に ・3) トSF11 (階調レベルコート) に ・3) トSF11 (階調レベルコート) に ・4) いのサブフィールト選択を用いる。

【0036】にれにより階調レベル a+m+n+2の1 階調をスキップしたことになる。スキップさせる階調数 は、興度飽和の程度により多茶させ、興度股和の大きい 高階調レベルほど、スキップ数を多くする。そこで、本 実施の形態では、スキップのないコーディングテーブル から、スキップさせたコーディングテーブルに置きかえ ることにより、当該スキップの処理を実現する。

【0037】図2のグラフに、階調レベルと輝度の関係を示す。横軸は階調レベル、縦軸は輝度(単位は[cd/m²])である。

【0040】図3の図表に、各サブフィールドの選択時 の発光頻度を示す。図2を参照すると、単独サブフィー ルド選択時と比較して、連続サブフィールド選択時は算 度が単独サブフィールドの和に比べて低くなる。これを サブフィールド開陳度報和と呼ぶ。

【0041】上記サプィールド問類度婚和のため、上 此の例においては、SF9とSF11が選択されている 勝調レベルュ+mよりもSF10とSF11が選択され る階調レベルュ+m+1の方が維持パルス1サイクルあ たりの類接り低下により、舞度が不足する。そこで、本 実施の形態では、上述したように、選択するサプフィー ルドの興度の和により開創を表現する場合に、図1に示 すように、階調レベルの高低により、下位ビットのサブ フィールド選択順序の規則性を異ならせることで、この 階調と関度の不連続性を改善できるようになるといった 効果を奏する。

【0042】(第2の実施の形態)以下、本売明の第2 の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。なお、 記章1の実施の形態と知いて詳細に説明する。なお、 記章1の実施の形態において既に記述した6のと同一 の部分については、同一符号を付し、重複した説明は省 略する。図4は、本売明の第2の実施の形態を説明する たかの図表である。

【0043】第2の実施の形態は、第10実施の形態に おいて、1フレーム中の総維持パルスの多纂により、ス キップの有無、あるいはスキップ数が異なることを特徴 としている。

【0044】図4を参照すると、本実施の形態では、サ ブフィールド間輝度を和は維持パルス数が多いほど顕著 であるので、維持パルス数が多い場合はスキップ数を多 くし、維持パルス数が少ない時はスキップ数を少なく (0(ゼロ)を含む」する。

【0045】第2の実施の形態の動作を実施するブロック図を、図写に示す。図号を参照すると、本実施の形態のAC型プラズマディスプレイ200では、入力された映像信号20は、映像処理部40を積成する映像信号処理回路22、サブフィールド制御回路24(図中ではSF制御回路と降記)でプラズマディスプレイパネル50用の信号に変換される。

【0047】以上説明したように第2の実練の形態によれば、総維持がいス数が少ない場合と総維持がいス数が少ない場合と総維持がいス数が多い場合と複雑円標を形を防ぐことができる。 (0048】(第3の実練の形態)以下、本売明の第3 の実施の形態を包面に基づいて詳細に説明する、なお、上記の名実練の形態において既に記述したものと同一の 都が高いていては、同一符号を付し、重複した説明は省略する。

【0049】第3の実験の形態は、上記第2の実験の形態において、前途したPLE(Peakluminance Einhance ent)と呼ばれる電力制御方法と組み合わせるものであ る。すなわち、図7に示すように、入力信号輝度レベル (APL)に応じてダイナミックに維持バルス数が変化し、それに応じてダイナミックにコーディングを変化させることを特徴としている。

【0050】第3の実態の形態の動作を実施する回路の プロック図を、図6に示す、図6を参照すると、本実態 の形態のAC型プラズマディスプレイ200では、映像 処理を行った後、平均輝度レベル海算回路110でAP し(入力信号の平均輝度レベル)を演算し、APL(入 力信号の平均輝度レベル)が高い場合、維持いルス制御 回路100では維維がルンを少な火沈と、コーディング制御回路28では連維がルンス制御

2. …, n 1 30より、スキッ丁数が少ないコーディンを選択する、コーディングが定後、維持バルス劇脚回路 100でサプフィールド別の維持パルス数を決定する。入力信号の平均環度レベル (APL) が低い場合、維持パルス刺側回路 100では総維持パルス刺回回路 10では総維持パルス刺のいるシープル(1, 2, …, n) 30より、スキッフ数が多いコーディングを選択する。コーディング快定後、維持パルス刺脚回路 100でサプフィールド別の維持パルス数を決定する。

【0051】以上説明したように第3の実施の形態によれば、映像信号20のAPLに応じて異なるコーディング・使用することにより、APLの高低によらず階調間 類度の逆転を防止することができる。

[0052] なお、本勢明が上記各実施の形態に限定されず、本発明の技術思想の範囲内において、上記名実施の形態は適宜変更され得ることは明らかである。また上記構成部材の数、位置、形状等は上記各実施の形態に限定されず、本勢明を実施する上で好適な数、位置、形状等にすることができる。また、各図において、同一構成要素には同一符号を付している。

[0053]

【発明の効果】本発明は以上のように構成されているの 、選択するサプィールドの弾度の和により附割を表 現する場合に、附割レベルの高低により、下位ピットの サブフィールド選択順序の規則性を異ならせることで、 昭割と弾度の不達続性を改善できるようになるといった が果を参する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態を説明するための図

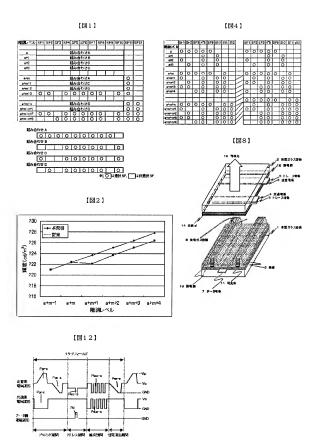
表である.

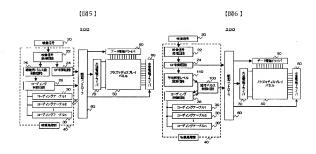
- 【図2】階調レベルと輝度の関係を示すグラフである。
- 【図3】各サブフィールドの選択時の発光輝度を示す図
- 【図4】本発明の第2の実施の形態を説明するための図 表である。
- 【図5】第2の実施の形態のシーケンスを動作させるための同路のブロック図である。
- 【図6】本発明の第3の実施の形態のシーケンスを動作させるための回路のブロック図である。
- 【図7】第3の実施の形態を説明するための図表であ
- 【図8】従来技術のAC型プラズマディスプレイの一つ の表示セル構成を例示する断面図である。
- 【図9】従来技術のAC型プラズマディスプレイバネル の電極配置の模式図である
- 【図10】従来技術のAC型プラズマディスプレイパネルのシーケンスを動作させるための回路のブロック図で

- 【図11】APLの高低と階調レベルとの関係を説明するための図表である。
- 【図12】従来技術のAC型プラズマディスアレイパネルの書き込み選択型駆動動作を説明するためのタイミングチャートである。
- 【符号の説明】
- 20…映像信号
- 22…映像信号処理回路
- 24…サブフィールド制御回路
- 26…総維持バルス数制御回路
- 28…コーディング制御回路 30…コーディングテーブル {1,2,…,n}
- 40…映像処理部
- 50…プラズマディスプレイパネル
- 60…駆動コントローラ
- 70…共通電極ドライバ
- 80…走査電極ドライバ 90…データ電極ドライバ
- 100…維持パルス制御回路
- 110…平均線度レベル海貧回路
- 200···AC型プラズマディスプレイ

【図3】

818	6F10	SFI1	6日2 英	ALM IS	91 M 10	支承者 引并省	護中・サイクルあたりの無慮
8	T	_		431			0.5591
	0		-	54.1			0,5549
_	$\overline{}$	10		65.1	1		0.5540
o		0	1	107.2	1082	-1.0	05497
	0	0		157	1182	-95	0.5391
o	0	O		156.2	1623	-61	05540





200…AC型プラズマディスプレイ
200…AC型プラズマディスプレイ

